

編集手帳



私は文章を書くのが速いほうではない。ことに医学系の原稿となると、どんなに調子がよくとも少し書いては消し、唸りながらのろのろと進む。本稿(編集手帳)を書くのは好きなので連載の原稿より先に書いてしまう(編集部の皆様すみません)が、つつい野球ネタばかり書きたくなる。先日 World Baseball Classic(WBC)ネタを書いたら前の号で神田善伸先生も WBC ネタを書いていた。内容が被らなかったのは大谷翔平選手のことを書いたらアブナイと勘が働いたからである。今後、野球ネタは少し減らしたい。

「職業作家にはスピードがなければなりませんよ」と、ある作家がエッセイをサインペンで一気に書きながら密着番組で語っていた。机の上には資料が乱雑に積み重なっており、原稿もその上で書く。素晴らしい才能で尊敬の念を禁じえない。私が比べられるのは机の状態だけである。診療が終わった夜に、その雑然とした机上でパソコンに向かって書いている、『天才たちの日課：クリエイティブな人々の必ずしもクリエイティブでない日々』(メイソン・カリー著、金原瑞人/石田文子訳、フィルムアート社)には天才たちの仕事スタイルが数多く紹介されており興味深い。夜は大量の飲酒や喫煙に耽りながらも必要なときには極度の集中力を発揮して作品を書いた F・スコット・フィッツジェラルドや、毎朝決まった時間に起きて 5～6 時間書くと午後はランニングや水泳をする村上春樹などルーティーンはさまざまである。天才たちもみな「工夫して、自分がつながりたい場所へ近づこうとする」努力の結果、それぞれのスタイルにたどり着いている。

一緒に本誌の編集委員を務められていた國松淳和先生、中村 造先生が本年 3 月で交代された。お二人の編集手帳は実に味のあるエッセイで、毎回楽しみにしていたので、読めなくなるのはとても寂しい。今度お会いしたときに、どんなスタイルで原稿を書かれているのか訊いて真似してみたいと思っている。とはいえ今後は私も懂れるのはやめて、原稿、論文をどんどん書くことだけ考えていきたい。國松先生、中村先生、3 年間お疲れ様でした。

立石知也

臨床雑誌 内科 第 133 巻 6 号(第 804 冊) 2024 年 6 月 1 日発行

監 修:	杉本恒明	黒川 清	矢崎義雄	木村 哲	小俣政男	宮坂信之	永井良三
編集委員会:	神田善伸(委員長)	立石知也	牧 尚孝	岡本 耕	辻本哲郎		
編集兼発行者:	東京都文京区本郷三丁目 42 番 6 号			小立健太			
印 刷 所:	東京都江東区亀戸七丁目 2 番 12 号			三報社印刷株式会社			
装 丁:	渡邊真介						

発 行 所
株式会社 南江堂

〒113-8410 東京都文京区本郷三丁目 42 番 6 号
出版(「内科」編集室直通) Tel: 03-3811-9984 Fax: 03-3811-8660
営業(販売 1 課/卸) Tel: 03-3811-7239 Fax: 03-3811-7230
<https://www.nankodo.co.jp/>

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物の利用に関する著作権者の権利は、株式会社南江堂が保有します。

JCOPY 出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(Tel: 03-5244-5088, Fax: 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

広告申込所 〒113-0033 東京都文京区本郷 5-24-6 本郷大原ビル 6 階 株式会社文京メディカル(Tel: 03-3817-8036)